10

# MicrobeDB.jpからMicrobiome Datahubへ: 微生物・植物・メタボロームのデータ統合と統合微生物データベースの再構築

〇藤澤貴智 $^1$ 、平川英樹、守屋勇樹 $^3$ 、信定知江 $^4$ 、金谷重彦 $^5$ 、有田正規 $^1$ 、田畑哲之 $^2$ 、磯部祥子 $^2$ 、東光一 $^1$ 、中村保一 $^1$ 、松井求 $^6$ 、山田拓司 $^7$ 、内山郁夫 $^8$ 、黒川顕 $^1$ 、森宙史 $^1$ 

1. 国立遺伝学研究所、2. かずさDNA研究所、3. ライフサイエンス統合データベースセンター(DBCLS)、4. 科学技術振興機構NBDC事業推進部、5. 奈良先端科学技術大学院大学 情報科学領域 計算システムズ生物学、6.東京大学 大学院新領域創成科学研究科 先端生命科学専攻、7.東京工業大学 生命理工学院、8. 基礎生物学研究所



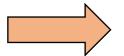
### 研究開発の構想・目標

#### MicrobeDB.jpをマイクロバイオームに特化した統合DBに作り変える

- ・爆発的なデータの増加に対応しいち早くデータを収録
- ・マイクロバイオームデータに特化した検索機能やUI
- ・様々な解析ワークフローに対応したデータ解析機能の実装

爆発的な勢いで増加するマイクロバイオームデータ をいち早く収録し、検索・解析可能な統合DBとし て、MicrobeDB.jpをマイクロバイオーム研究の国 際的なデータハブへ発展させる。



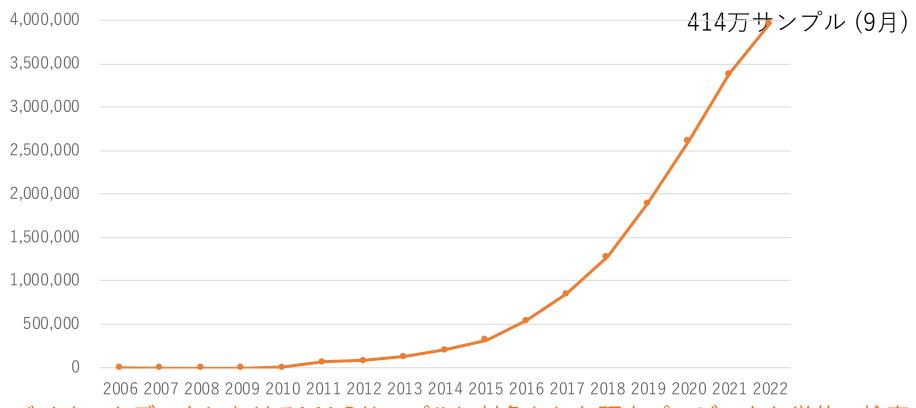


マイクロバイオームデータに焦点を絞って統合し、検索機能やUIを一新し利用性の向上を徹底する



## 収載予定のデータ

# INSDC DDBJ/ENA/NCBIで公開されたマイクロバイオームサンプル

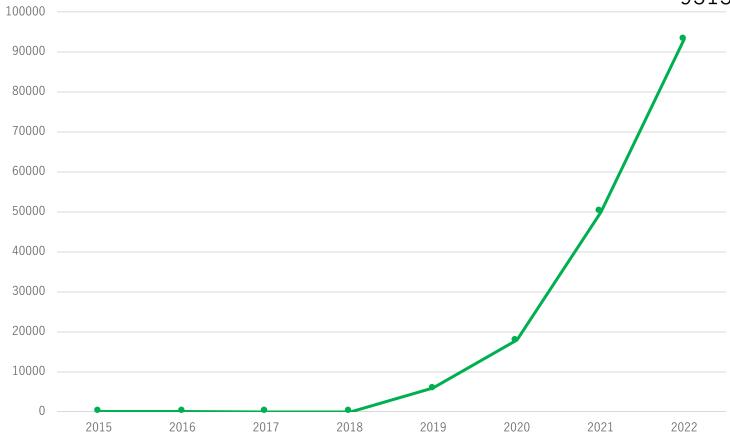


マイクロバイオームデータにおけるMAGサンプルに対象とした研究プロジェクト単位の検索へ



# INSDC DDBJ/ENA/NCBIで公開されたMAGの数

93131サンプル (9月)



BioSampleの中でMIMAG Packageを使用しているサンプルの数を集計 (論文において報告されているMAGはこの数倍存在)



### 研究開発項目

- 1. ゲノム・メタゲノムの統合化
- 2. リソース(モノ)との連結
- 3. データ爆発への対応
- 4. 効率的な逐次DB更新・運用システムの"再"構築
- 5. キラーデータセット・アプリケーションの開発
- 6. マルチオミックス連携



#### 分野・領域を超えたデータ統合とDB連携

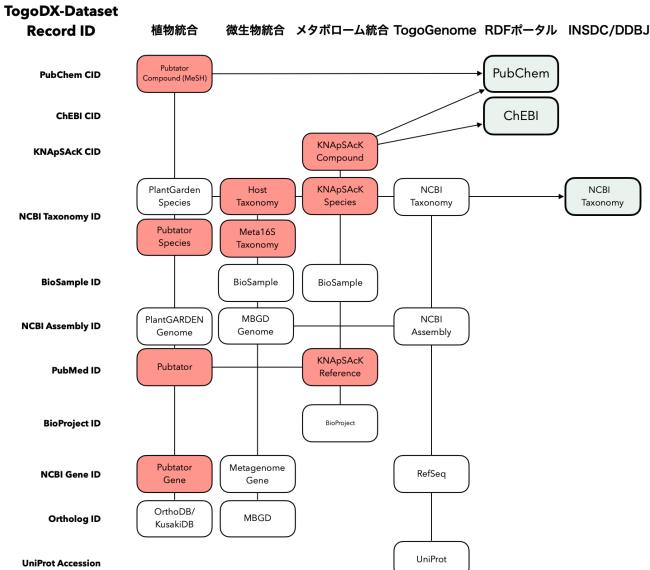
化合物-植物-微生物群集 間のID/OntologyによるDB連携の例 TogoDX-TPP



BioProjectやBioSample、環境オントロジー、系統名などを糊代に分野・領域を超えたデータ統合とDB連携を進める



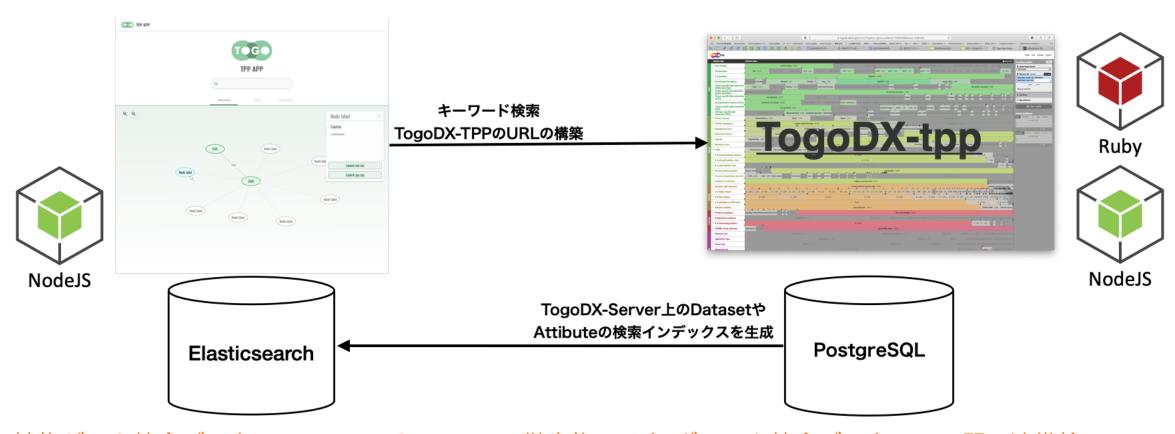
## TogoDX-TPPにおけるデータ統合



- RDFポータル、TogoGenome の"ハブ"となるリソースを活用し、生物種および化合物を中心に、植物・微生物・メタボローム各々の"のりしろ"となるRDF データを用いてデータ統合を実現した。
- Genome Assembly、Gene、 Protein、Orthologとのさらなる統合については、関係情報の追加など解決すべき課題が明らかになった。



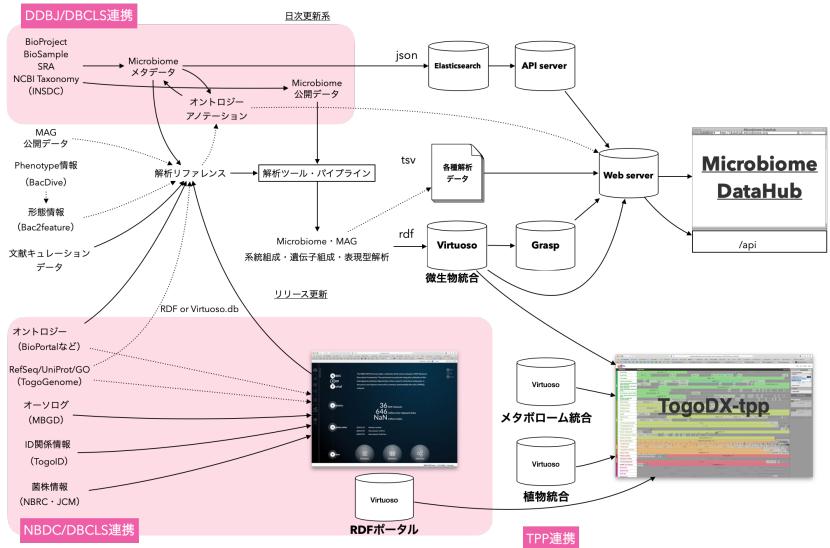
### 連携検索システムとTogoDX-TPPの関係性



- 植物ゲノム統合データベースPlant GARDEN、微生物、メタ ボローム統合データベース間の連携検索システムの開発(ポスター番号16)
- 統合データベース探索フレームワークTogoDXの開発とその応用(ポスター番号04)



#### DB更新・運用システムの"再"構築(計画)



既存リソースは徹底的に使い倒しマイクロバイオーム関連の開発にエフォートを集中する



#### Microbiome Datahub

MicrobeDB.jpの重要なデータや機能は引き継ぎつつ、https://mdatahub.org で新DBを構築して今年度公開予定